

学校評価(共通項目)評価書

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	3.5 A	・学校教育目標をもっと意識する必要がある。	4.0 A	・校長の方針のもと、先生方が努力している。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	3.3 B	・もっと全教職員で実施するべきである。	3.9 A	・生徒がのびやかに育っている。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	3.2 B	・生徒の習熟度に大きな開きが見られるので、個に応じた指導が必要である。	3.9 A	・大変がんばっている。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	3.5 A		4.0 A	・大きく成果をあげている。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	3.2 B	学校として組織的に取り組む体制をつくる。	3.8 A	・道徳の研究の成果が表れている。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	3.3 B		3.9 A	・引き続きがんばってほしい。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	3.0 B	・運動する楽しさを味わう校内行事を実施する。	3.1 B	・学校としてはよく努力をしている。 ・もともと、部活動が盛んではないので、運動好きな傾向はなさそうだが、イベントを増やしてみてもどうか。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	3.1 B	・昼休みや放課後を活用して基礎体力の向上を目的とした活動を取り入れる。	3.6 A	・今後に向けても目標としていただきたい。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	3.0 B		3.9 A	
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	3.0 B	・学校と保護者や地域が連携してできる学校教育活動や地域行事の機会を増やす。	3.6 A	・意見にあったように、災害の時のことを考えた訓練的イベントなどがあると一石二鳥な感じがする。(トイレ作り、テント張等) ・保護者の一部の人は、人任せにして協力的でない方がいるので、その方たちの対応を考えていく。 ・改善策をみんなで検討する。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満